

海 洋 概 報

(海 氷 編)

(平成17年 第4号)

北海道周辺の海水状況

自 平成16年(2004)12月

観測期間

至 平成17年(2005) 5月

第一管区海上保安本部

目 次

1	まえがき	1
2	観測実施要領	
	（1）当庁の観測	1
	ア 沿岸観測	1
	イ 巡視船艇による観測	1
	ウ 航空機による観測	2
	エ 人工衛星による観測	3
	（2）その他の機関の観測	
	ア 沿岸観測	3
	イ 一般船舶からの報告	3
	ウ 航空機による観測	3
	エ 気象衛星による観測	3
	オ 地球観測衛星TERRAによる観測	4
3	観測資料入手件数	4
4	海氷状況	
	（1）月別海氷状況	4
	（2）月別港内状況一覧（港内氷量）	10
5	海氷情報の提供	
	（1）FAXサービス	16
	（2）インターネット	16
	（3）航行警報	16
6	海氷による海難	16
7	沿岸海氷統計（沿岸観測、航行障害、旬別氷量及び全氷量）	17
8	今冬の海氷状況の特色	17

図 表 目 次

第1表	第一管区海上保安本部沿岸観測地	1
第2-1表	航空機による観測（年度計画による観測）	2
第2-2表	航空機による観測（巡視船そうや搭載機による観測）	2
第3表	気象官署の観測地	3
第4表	一般船舶・漁船からの報告	3
第5表	海上・陸上自衛隊機による観測	4
第6表	海氷観測資料の件数	4
第7表	海氷の種類と記号	10
第8-1～6表	港内状況一覧表	10-15
第9-1表	海氷情報FAXサービス提供件数	16
第9-2表	海氷情報インターネットアクセス件数	16
第9-3表	海氷情報の発表	16
第10-1表	沿岸観測平年値（結氷）	19
第10-2表	沿岸観測平年値（流氷）	19
第10-3表	沿岸観測平年値（結氷による航行障害）	20
第10-4表	沿岸観測平年値（流氷による航行障害）	20
第11-1表	沿岸観測一覧表（結氷）	21
第11-2表	沿岸観測一覧表（流氷）	21
第12-1表	結氷による航行障害	22
第12-2表	流氷による航行障害	22
第13表	旬別氷量と全氷量	26
第1図	第一管区海上保安本部沿岸観測地	1
第2図	巡視船艇による観測件数	2
第3図	流氷情報の収集と提供の流れ	18
第4図	結氷氷量図	23
第5図	流氷氷量図	24
第6-1図	全氷量図	25
第6-2図	旬別氷量図	26
第7図	結氷・流氷による航行障害状況	27

平成17年における北海道周辺海域の海氷状況

1. はじめに

第一管区海上保安本部では、流氷による海難を防止する目的で「流氷情報センター」（平成16年12月20日開所，平成17年5月9日閉所）を設置し，海氷情報の収集・提供を行った。

また，下記の部外諸機関より各種観測資料の提供を受けている。

- ・ 気象官署の沿岸観測及び気象衛星による観測
- ・ 防衛庁航空機による観測
- ・ 独立行政法人北方領土問題対策協会「北方館」による納沙布岬の沿岸観測
- ・ 道東観光開発株式会社による海氷目視観測
- ・ オホーツク・ガリンコタワー株式会社による目視観測及びタワーレーダによる観測
- ・ 東海大学情報技術センターによる地球観測衛星TERRAのMODIS画像
- ・ 一般船舶，漁船による報告

ここでは，流氷情報センター開所期間中の海氷観測結果をとりまとめて報告する。

2. 観測実施要領

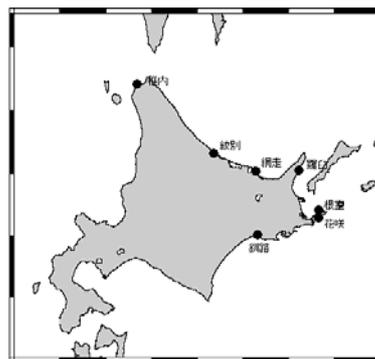
(1) 当庁の観測

ア. 沿岸観測

陸上からの沿岸観測は，第1表及び第1図のとおり毎日12時に所定の場所で行った。

第1表：第一管区海上保安本部沿岸観測地

・ 実施場所
稚内・紋別・根室・釧路の各海上保安部 網走・羅臼の各海上保安署 根室海上保安部花咲分室
・ 観測項目
【目視による海氷観測】 分布，形状，氷量，氷厚，移動状況，航行障害状況
【一般気象観測】 天気，風向，風速，視程，水温，気温，気圧

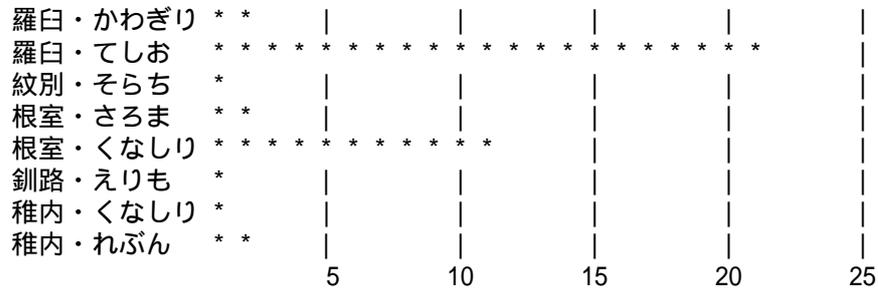


第1図：第一管区海上保安本部沿岸観測地

イ. 巡視船艇による観測

アイスパトロールのほか，一般しょう戒の行動中にも随時観測が実施され，43件の情報を

得た(第2図参照)。



第2図：巡視船艇による観測件数

ウ.航空機による観測

年度計画による観測は14回実施した(第2-1表)。また、海水観測(本部海洋情報部職員同乗による)時の巡視船そうや搭載航空機により5回(第2-2表)、千歳・釧路各航空基地所属機及び巡視船そうや搭載航空機で8回(第2-3表)、合計27回実施した。

なお、公式統計が開始された昭和34年から本海水年の2月3日をもって航空機観測は1,000回を達成した。

第2-1表：航空機による観測(年度計画による観測)

	実施日	機種	観測員	機長
1	1月6日	LA702	斉藤・高橋	五井
2	1月13日	LA702	鈴木・高橋	五井
3	1月24日	MA952	鈴木・高橋	澤田
4	1月27日	MA868	増山・高橋	東野
5	2月3日	LA702	鈴木・高橋	羽藤
6	2月10日	MA868	増山・衛藤	高萩
7	2月17日	MA868	増山・原口	森
8	2月24日	LA702	鈴木・橋本	高萩
9	3月3日	LA702	鈴木・高橋	羽藤
10	3月10日	LA702	鈴木・高橋	五井
11	3月14日	MA952	鈴木・高橋	岡崎
12	3月30日	LA782	増山・高橋	五井
13	4月14日	LA782	増山・高橋	森
14	4月28日	LA782	尾形・高橋	森

第2-2表：航空機による観測（巡視船そうや搭載航空機による観測）

	実施日		機種	観測員	機長
1	2月	12日	MH-565	高橋	井上
2	2月	13日	MH-565	藤倉	井上
3	2月	14日	MH-565	鈴木	井上
4	2月	15日	MH-565	高橋	井上
5	2月	16日	MH-565	鈴木	井上

第2-3表：航空機による観測

（千歳・釧路航空基地所属機及び巡視船そうや搭載航空機による観測）

	実施日		機種	所属等
1	1月	26日	MH-536	釧路航空基地
2	1月	27日	MH-565	巡視船そうや
3	1月	28日	MH-565	巡視船そうや
4	2月	1日	MH-536	釧路航空基地
5	2月	24日	MH-561	釧路航空基地
6	2月	28日	LA702	千歳航空基地
7	3月	16日	MH-561	釧路航空基地
8	3月	23日	MH-536	釧路航空基地

I. 人工衛星による観測

人工衛星NOAAのデータを毎日受信した。

(2) その他の機関の観測

ア. 沿岸観測

沿岸観測資料は、下記機関より提供を受けた。

- ・ 気象官署の沿岸観測は、毎日午前9時に第3表の場所で実施され、札幌管区気象台からファックスにより提供を受けた。
- ・ 独立行政法人北方領土問題対策協会「北方館」（納沙布岬）からの沿岸観測は、毎日12時（定休日を除く）の状況をファックスにより提供を受けた。
- ・ 道東観光開発株式会社による海水目視観測状況をファックスにより提供を受けた。
- ・ オホーツク・ガリンコタワー株式会社による目視観測及びタワーレーダによる観測状況を電子メールにより提供を受けた。

第3表:気象官署の観測地

気 象 官 署

稚内・紋別・網走・根室・釧路

イ.一般船舶からの報告

海上保安部署経由での報告は,第4表のとおりで2隻の船舶から2件の報告があった.

第4表:一般船舶・漁船からの報告

一般船舶・漁船からの報告

第81平安丸(1), SHENZHEN BAY(1)

()内は報告件数

ウ.航空機による観測

当庁以外の航空機による観測は,第5表のとおり海上自衛隊機で25回,陸上自衛隊機で2回実施された.海上自衛隊機の観測資料は札幌管区气象台から,また,陸上自衛隊機の観測資料は釧路地方气象台から札幌管区气象台を経由して,それぞれファックスにより即日提供を受けた.

第5表 海上・陸上自衛隊機による観測

所 属	観 測 日
海上自衛隊機	平成16年 12月24日
	平成17年 1月7, 11, 14, 18, 21, 25, 28日
	2月1, 8, 15, 18, 22日
	3月1, 4, 8, 11, 15, 18, 22, 29日
	4月5, 12, 19, 26日
陸上自衛隊機	平成17年 2月9日
	3月9日

エ.気象衛星による観測

流氷期間中,気象庁海洋気象課より臨時の海氷分布図を含めて札幌管区气象台を経由して,ファックスにより提供を受けた.

オ.地球観測衛星TERRAによる観測

地球観測衛星TERRAが午前中に受信したMODIS画像を東海大学情報技術センターからインタ

ーネットにより提供を受けた。

カ.その他

業務の参考とするため、宇宙航空研究開発機構のホームページを参照した。

3. 観測資料入手件数

観測資料の入手件数については、第6表のとおり。

海上保安庁の観測		海上保安庁以外の機関の観測	
保安部署等の観測	801	防衛庁航空機	27
巡視船艇	43	気象官署	360
航空機	27	気象衛星	140
人工衛星 NOAA	140	東海大学情報技術センター (地球観測衛星 TERRA)	108
		一般船舶	2
		林-ツク・ガリコツク-株式会社	42
		北方館	39
		道東観光開発株式会社	8
計	1,011	計	726

4. 海氷状況

各月別毎の海氷状況及び月別の港内状況は、次のとおりである。

(1) 月別海氷状況

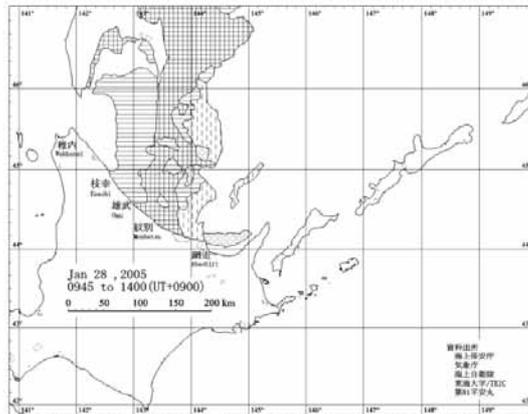
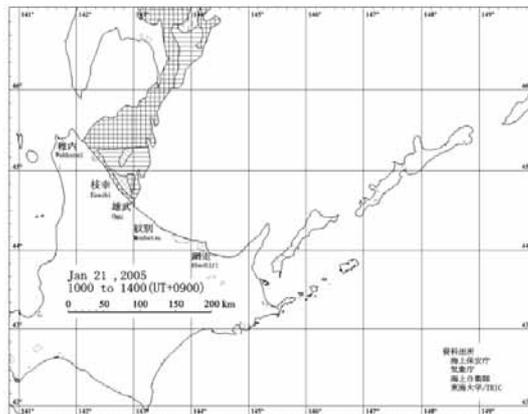
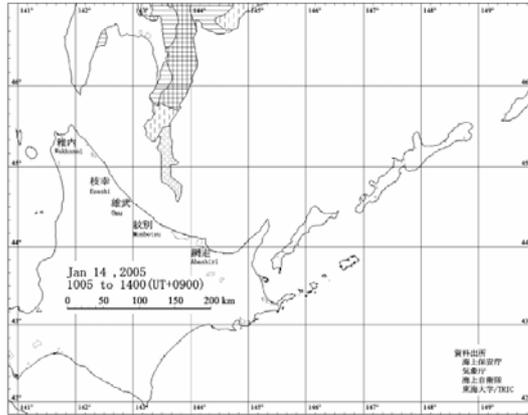
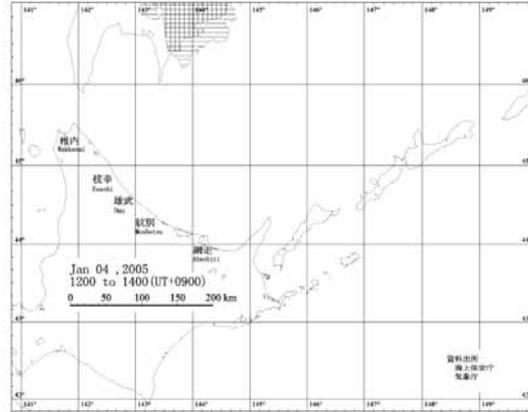
【12月】

オホーツク海の流氷は、緩やかに拡大を続けていたが、12月中には46度以南に達していなかった。

【1月】

オホーツク海南部の流氷は,1月上旬以降,順調に南下を続け中旬の中頃北緯46度付近に達した.

その後ゆっくりと南下を続け下旬前半にオホーツク海北部沿岸に接岸した.以降,オホーツク海沿岸に沿って南下をし,旬後半には知床半島北岸にまで広がった.また,23日に紋別で,28日には網走で流氷初日となった.



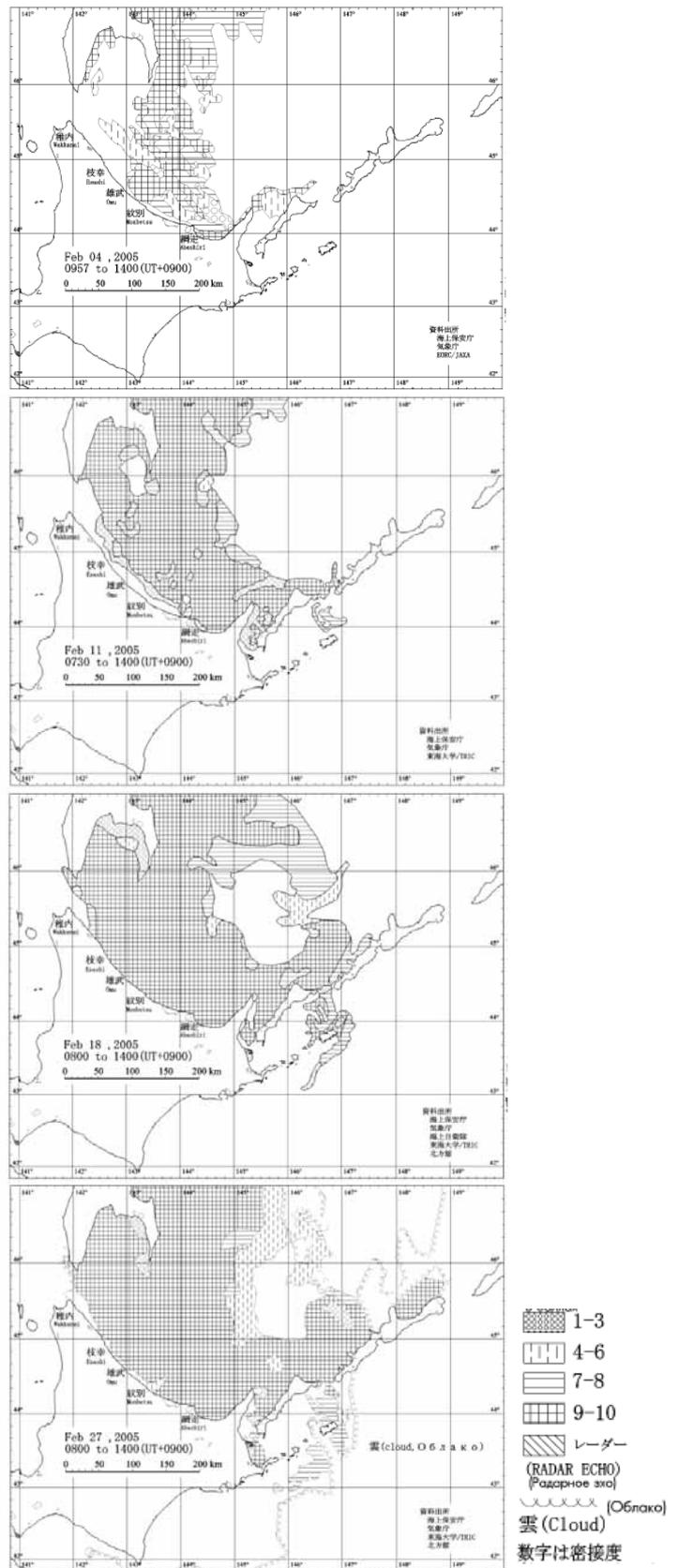
- 1-3
- 4-6
- 7-8
- 9-10
- レーダー
- (RADAR ECHO)
(Радарное эхо)
- 雲 (Cloud) (Облако)
- 数字は密接度

【2月】

上旬後半より、海水は根室海峡に流入を始め、8日に羅臼で流氷初日となった。その後海水は、次第に拡大しながらオホーツク海南西海域を広く覆っていった。中旬以降、国後水道から太平洋側へ流出するに至り、下旬には色丹島付近に達した。また根室海峡の流氷も南下を続け、17日に流氷初日となった。

一方、オホーツク海沿岸の海水は、8～9日及び22～25日に離岸し、沿岸には水路が広がった。

宗谷海峡から日本海側への海水の流出は中旬末にサハリン・クリリオン岬付近に見られた。

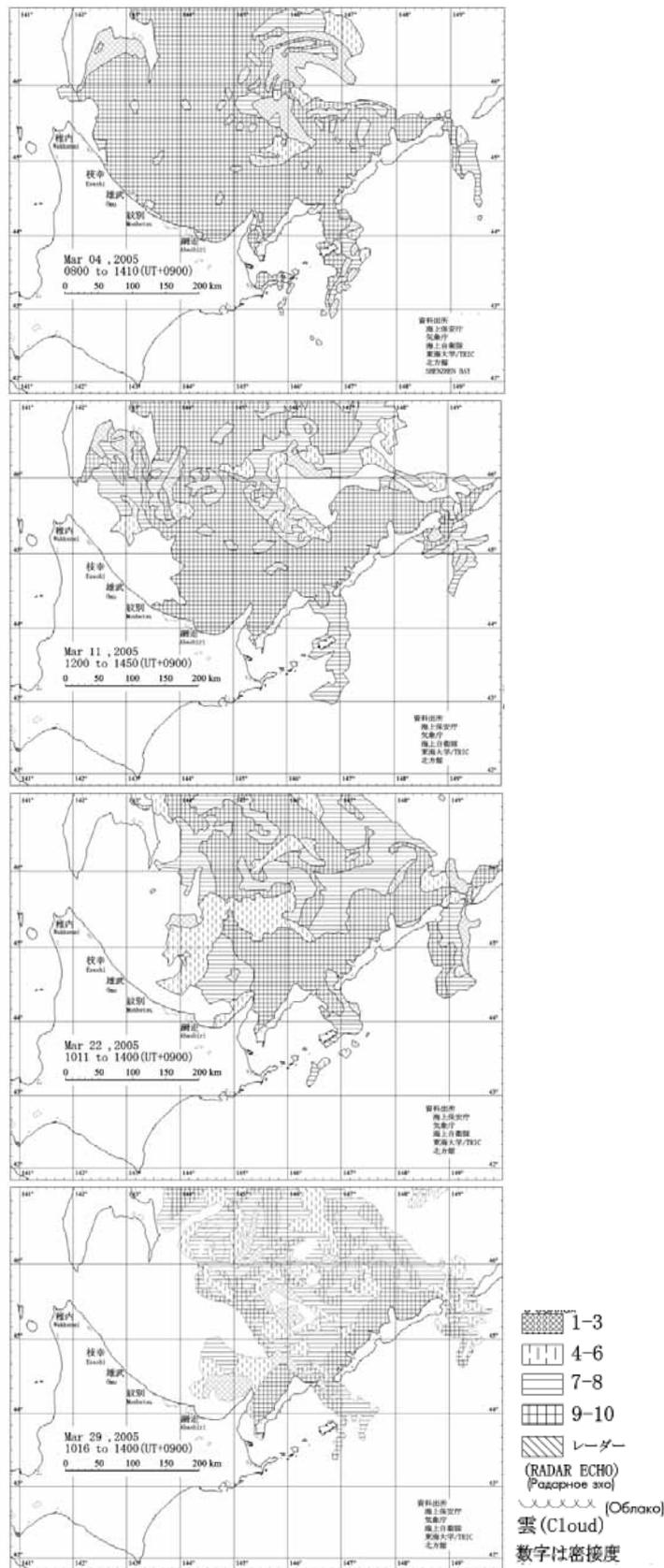


【3月】

上旬にオホーツク海南西海域の海氷域は、オホーツク海側沿岸から択捉島北岸に至り、今季における最大面積域となった。国後水道から流出した海氷は色丹島付近へ拡がり、また、択捉海峡からも流出をし、太平洋へと拡がった。

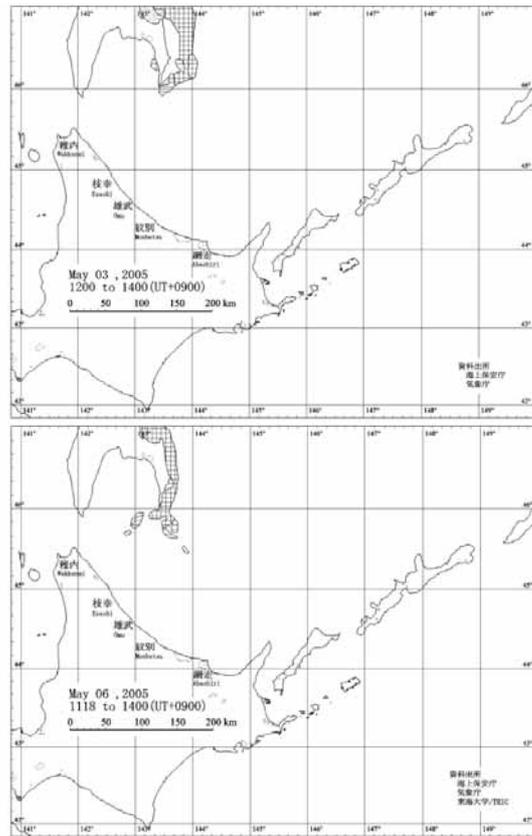
上旬末からオホーツク海側沿岸の海氷は、北部で離岸し始め、15日には紋別で、また19日には網走で流氷終日となり、月末には知床半島の一部に海氷を残すのみとなり、開放水面が広がった。

また、根室海峡から根室にかけての海域では、根室海峡に海氷が存在するものの、根室では海氷は離岸・融解し、12日に根室で流氷終日となった。



【5月】

北海道付近の海水は融解が進み，サ
ハリン東岸及びアニワ岬付近に海水を
残すのみとなり，8日に北緯46度付近ま
で後退した．



(2) 月別港内状況 (港内水量)

第7表：海水の種類と記号

記号	種類	記号	細分種類	厚さ・大きさ
N	新成氷	Cr Gr Sl Sg	晶氷 グリーンアイス 雪泥 スポンジ氷	
Ni	ニラス	Nd NI R	暗いニラス 明るいニラス 氷殻	厚さ5cm未満 厚さ5～10cm 厚さ5cm程度
P	はず葉氷	P	はず葉氷	厚さ10cm程度
Y	板状軟氷	Y1 Y2	薄い板状軟氷 厚い板状軟氷	厚さ10～15cm 厚さ15～30cm
W	一年氷	W0 W1 W2	薄い一年氷 並の一年氷 厚い一年氷	厚さ30～70cm 厚さ70～120cm 厚さ120cm以上
Br Ck F	砕け氷 板状 氷盤	Br Cs Ck Fs Fm Fb Fv Fg	砕け氷 小板氷 板状 小氷盤 中氷盤 大氷盤 巨氷盤 巨大氷盤	直径2m以下 直径2m未満 直径2～20m 直径20～100m 直径100～500m 直径500～2000m 直径2～10km 直径10km以上
H	変形氷			

第8-1表 港内状況一覧表 (2004年12月)

日	稚内	水量	紋別	水量	網走	水量	羅臼	水量	根室	水量	花咲	水量	知人鼻	水量
20														
21														
22														
23														
24														
25														
26											Gr,P	1		
27														
28									Sl	1	Gr,P	1		
29					Gr,P	1			Sl,Ni	1	Gr,P	1		
30									Sl,Ni	1	Gr,P	0+	P	1
31									Sl,Ni	1				

注1) 水量：港内全域を10としたとき海水で覆われる水面の割合を示したものである。

注2) : 海水による航行障害の発生を示す。

第8-2表：港内状況一覧表（2005年1月）

日	稚内	水量	紋別	水量	網走	水量	羅臼	水量	根室	水量	花咲	水量	知人鼻	水量
1									SI,Ni	1			Gr	1
2									SI,Ni,P	1	Gr,P	1		
3									SI,Ni	1				
4			SI	1										
5			SI	1	Gr,P	1								
6			SI	1					Ni	1	Gr	1	Gr	0+
7			SI	1										
8														
9					Gr	1			Gr,SI	1			Gr	0+
10			Gr	0+					Gr,SI	1	Br	1	Gr	0+
11			Gr	0+	Gr,P	2			P,Ni	5	Gr	0+	Gr	0+
12			Gr,SI	0+	Gr,P	2			SI,Ni	5	Gr	1	Gr	0+
13			Gr,SI	0+	視界不良				Ni,P,Y,Gr,SI	5	Gr,P	0+	Gr	0+
14									Gr,Ni,P	4	Gr,P	0+		
15									Ni,P	3	Gr	0+	Gr	0+
16									P	2				
17									Gr,SI,Ni	1				
18									Gr,SI	1				
19									SI,P	1				
20									SI,Ni	1			視界不良	
21														
22					視界不良				SI,Ni	1				
23			Ni,P	1					SI,Ni	1				
24			Gr	1					Gr,SI,Ni	8	Gr,P	0+		
25			視界不良		視界不良						Gr	0+		
26			Gr,SI,Br	2	P	1			Gr,SI,Ni	1			Gr	1
27			Gr,SI,Br	2	P	1			Gr,SI,P	10	Gr,P	0+	Br	1
28			Gr,SI,P	2	Gr	1			Y,SI,Ni	9	Gr,P	1	Y,Gr	1
29			Gr,SI,P	5	視界不良				SI,P	9	Gr	0+	Gr	1
30			Gr,P	5	視界不良									
31			Gr,Y	1	Gr,P	1			SI,P	3	Gr,P	0+		

注1) 水量：港内全域を10としたとき海水で覆われる水面の割合を示したものである。

注2) : 海水による航行障害の発生を示す。

第8-3表：港内状況一覧表（2005年2月）

日	稚内	氷量	紋別	氷量	網走	氷量	羅臼	氷量	根室	氷量	花咲	氷量	知人鼻	氷量
1			Gr,Ni	9	Gr,P	1			SI,Ni,P	10	Gr,P	1	Ni,P	0+
2			Gr,Ni	4	Gr,P	0+			Si,Ni	2	Gr,P	0+		
3			Gr,Ni	2	Gr,P	0+			SI,Ni,Gr	2	Gr	0+	Ni,P	0+
4			Gr	2	Gr,P	0+			SI,Ni,P	2			Ni	0+
5			Gr	1	Gr,P	1			SI,Ni,Gr,P	3			Ni,P	1
6			Gr	2	視界不良				SI,Gr,P	3			Gr,Br	0+
7			Gr,Ni,SI	1	Gr,P	4			P,Ni,Y	2			Ni,P	0+
8			Gr,SI	1	Gr,Br	10	Cs,Ck	9	Y	1				
9					Br,Gr,P	7		2	Br,P	1				
10			視界不良		Br,Gr,P	9		2						
11			Gr	0+	Br,P	7		1	P,Ni	1				
12			Ni	7	Br,P	7		1	Ni,P,Br	1	Gr,P	1	Gr	0+
13			Ni	8	視界不良		Cs,Gr,Ni,P	2	Ni,P,Br	4	Gr,P	0+		1
14			Y,SI	10	Br,P,Gr	3	P,Gr	3	P,Y,Br	9	Gr,P	2	Ni	1
15			Gr,SI,Ni	10	Br,P	9	Gr,Cs	3	P,Y,Br	10	Gr,P	0+	Gr,Br	1
16			Ck,Gr,Ni	10	Br,P	8	P,Gr,Ni	3	P,Y,Br	10	P	1	Gr	0+
17			Br,Ni,P	10	Br,P	6	Y,Cs	9	P,Y,Br	10	P	1	視界不良	
18			Gr,SI,Y	10	Br,P	8	Gr	2	P,Y	3	P	0+		
19			Y,W	10	Br,P	7	Gr,Cs	6	P,Y	9	P	1	Ni,P	0+
20			Y,W	10	視界不良		視界不良		P,Y	6	Gr,P	1	視界不良	
21			Y,Gr,W	10	Br,P	5	SI	1	P,Br	8	Gr,P	1	Ni,P	1
22			Gr	10	Br,P	1	SI	1	Ni,SI,P,Br	9	Gr,P	1		
23			Gr	10	Br,P	1	SI	1	Ni,SI,P,Br	9	P	1	Gr,Br	2
24			Gr	5	Br,P	1	SI	0+	SI,P,Br	9	P	1	Gr,Br	1
25			Gr,Y	3	Br,P	5	Y,Cs,P	0+	SI,P,Br	9	P	1	Gr,Br	1
26			Gr	2	Gr,Br,P	4	Gr,SI	3	SI,P,Br	8	P	1	Gr,Y	0+
27			Gr	1	Br,P	6	Gr,SI	2	SI,P,Br	10	Gr	0+	Gr,Y	0+
28			Gr,Y	2	Br,P	6	SI	2	P,Y,Cs,Br	9	Gr	0+	Gr	1
29														

注1) 氷量：港内全域を10としたとき海水で覆われる水面の割合を示したものである。

注2) 視界不良：海水による航行障害の発生を示す。

第8-4表：港内状況一覧表（2005年3月）

日	稚内	水量	紋別	水量	網走	水量	羅臼	水量	根室	水量	花咲	水量	知人鼻	水量
1			Y,Gr	3	P	4	Y,Cs	0+	P,Y,Cs,Br	9	Gr	0+	Gr,P	0+
2			Y,Gr	3	P	4	Gr,Sl	5	P,Y,Cs,Br,Gr	9	Gr,P	0+	Gr,P	2
3			Y,Gr	3	P	4	Gr,Sl	4	P,Y,Cs,Br,	9	Gr,P	1	Gr,P	0+
4			Y,Gr	3	P,Gr	4	Gr,Sl	2	P,Y,Cs,Br,Gr	7	Gr	0+	Gr,Ni	2
5			Y,Gr	3	P,Gr	4	Y,Cs	0+	P,Y,Cs,Br,Gr	7	Gr	0+	Br	1
6			Y,Gr	3	P	4	Gr	2	P,Y,Cs,Br,Gr	7	Gr	1		
7			Ni,Sl,Gr	5	P	3	Gr	2	P,Y,Cs,Br,Gr	7	Gr	1		
8			Ni,Sl,Gr	2	P,Gr	3	Gr	2	P,Y,Cs,Br,Gr	6				
9			Gr	1	P,Gr	2			P,Y,Cs,Br,Gr	6				
10			Gr,Sl	1	P	3	Gr,Sl	3	P,Y,Cs,Br,Gr	6	Gr	0+		
11			Gr,Sl	1	Br,P	8	Gr,Sl	3	Sl,Gr,Ni,Br	3	Gr	0+		
12			Gr,Sl	2	Br	8	Gr	0+	Sl,Gr,P,Y,Br	3				
13			Gr	1	Br,Y	8	Gr,Sl	2	Sl,Ni	1	Gr	0+		
14			Gr,Sl	1	Br	9	Gr,Sl	2	Gr,Ni,P,Cs,Sl	8	Gr	0+		
15			Gr	1	Br	7			Gr,Ni,Sl,P,Y	0+				
16			Sl	1	Br,P	6			Ni,Sl,P,Y	0+				
17			Gr	2	Br,Gr	6			Br,P	2				
18			Gr	1	Br,P	0+								
19			Gr	1	P	2								
20					Gr,P	1								
21					Ni,P	2								
22			Gr	1	Ni,P	2								
23					P	1								
24														
25														
26														
27														
28														
29														
30														
31							Ck	2						

注1) 水量：港内全域を10としたとき海水で覆われる水面の割合を示したものである。

注2) : 海水による航行障害の発生を示す。

第8-5表：港内状況一覧表（2005年4月）

日	稚内	氷量	紋別	氷量	網走	氷量	羅臼	氷量	根室	氷量	花咲	氷量	知人鼻	氷量
1							Ck	4						
2							Ck	2						
3							Ck,Cs	3						
4														
5							Ck,Br	2			Gr	0+		
6														
7														
8														
9														
10														
11														
12														
13														
14														
15														
16														
17														
18														
19														
20														
21														
22														
23														
24														
25														
26														
27														
28														
29														
30														

注1) 氷量：港内全域を10としたとき海水で覆われる水面の割合を示したものである。

注2) : 海水による航行障害の発生を示す。

第8-6表：港内状況一覧表（2005年5月）

日	稚内	水量	紋別	水量	網走	水量	羅臼	水量	根室	水量	花咲	水量	知人鼻	水量
1														
2														
3														
4														
5														
6														
7														
8														
9														

注1) 水量：港内全域を10としたとき海水で覆われる水面の割合を示したものである。

注2) : 海水による航行障害の発生を示す。

5. 海氷状況の提供

流氷情報センター開所期間中は入手した資料をとりまとめ、その日の17:00までに関係機関及び船舶等に対してFAXポーリングサービス及びインターネットによる海氷速報図並びにNAVTEX航行警報により海氷の分布状況を提供した。

また、日本海及び太平洋に海氷の流出が見られる場合は、付近航行船舶の安全確保のため地域航行警報、日本航行警報及びNAVTEX航行警報を随時に提供した。

これら情報の収集と提供の流れは第3図に示すとおりである。

(1) FAXサービス

第一管区海上保安本部及び紋別海上保安部において、FAXポーリングサービスによる海氷速報図の提供を行った。今期は、6,111件の利用があった。

(2) インターネット

第一管区海上保安本部のホームページに海氷速報図を掲載した。また、航空機による観測図・航空機から撮影した海氷状況写真及び沿岸からの海氷観測状況をあわせて掲載し、今期は243,539件のアクセスがあった。

(3) 航行警報

NAVTEX航行警報による海氷分布状況の提供を行い、必要に応じて地域航行警報、日本航行警報及びNAVTEX航行警報により付近航行船舶への安全通報を実施した。今期は、地域航行警報が8件、日本航行警報が44件、NAVTEX航行警報が164件の通報を発出した。

	12月	1月	2月	3月	4月	5月	合計
一管区本部	19	750	1,330	1,672	908	31	4,710
紋別海上保安部	18	493	340	412	129	9	1,401
計							6,111

表9-1：海氷情報 FAX サービス提供件数

	12月	1月	2月	3月	4月	5月	合計
アクセス	6,777	85,732	82,634	51,993	14,323	2,080	243,539

表9-2：海氷情報インターネットアクセス件数

	12月	1月	2月	3月	4月	5月	合計
海氷速報	0	28	28	31	30	8	125
地域航行警報	0	0	2	6	0	0	8
日本航行警報	0	0	11	29	4	0	44
NAVTEX 航行警報	0	27	40	59	33	5	164

表9-3：海氷情報の発表

6. 海氷による海難

今季の海氷による海難は、2月22日に独船籍の貨物船が海氷に閉塞された海難が1件発生した。

7. 沿岸海氷統計

沿岸観測地点について以下の通り取り纏めた。

第10表：結氷及び流氷初日・終日・期間・日数及び平年値

第11表：今季の観測

第12表：今季の航行障害

第16図：旬別氷量及び全氷量

表中の期間とは初日から終日までを日数で表したもので、表中の日数とは結氷（流氷）を観測した日数である。なお、結氷から終日までの期間中で結氷（流氷）の無い場合もある。

8. 今季の海氷状況の特色

- ・紋別・網走・羅臼及び根室では、流氷初日は平年に比べ1～5日とやや遅い程度であったが、流氷終日は羅臼を除く3地点で14～20日と半月ほど早い終日であった。
- ・全氷量は801で昨年(522)に比べると増加しているが、平年(1488)に比べると54%と半分程度であり、昨年に引き続き平年を下回った。
- ・昨年に続き、稚内・花咲及び釧路（知人鼻）では海氷は観測されず、宗谷海峡から日本海への海氷の流出はクリリオン岬付近での小規模なものであった。また、太平洋での流出も落石岬南方までに止まり、釧路沖に達するものは無かった。

第10-1表：沿岸観測平年値 結氷（1971～2000年）

結氷	(年)	初日	終日	期間	日数	月別日数				
						12月	1月	2月	3月	4月
稚内	(30)	1-7	3-1	55日	23日	0	7	13	3	0
紋別	(30)	1-4	3-27	85日	71日	1	19	27	21	2
網走	(30)	1-1	3-26	86日	70日	2	18	27	21	2
羅臼	(30)	1-24	3-21	58日	30日	0	3	12	9	3
根室	(30)	12-20	3-24	97日	73日	4	21	26	19	3
納沙布	(27)	1-31	3-2	31日	15日	0	2	6	2	0
花咲	(27)	1-12	3-14	62日	39日	1	10	17	9	0
知人鼻	(30)	1-17	3-2	46日	22日	0	7	13	2	0

注)：(年)は初日，終日を平均した年数で，花咲は1974～2000年，納沙布は1971～1997年，その他は1971～2000年で，結氷があった年数。

第10-2表：沿岸観測平年値 流水（1971～2000年）

流水	(年)	初日	終日	期間	日数	月別日数				
						1月	2月	3月	4月	5月
稚内	(30)	2-10	3-6	25日	12日	1	5	3	0	0
紋別	(30)	1-25	3-30	66日	47日	6	21	16	3	0
網走	(30)	1-23	4-8	77日	60日	7	23	22	8	0
羅臼	(30)	2-10	4-8	60日	39日	1	13	16	9	1
根室	(30)	2-16	3-26	40日	28日	0	9	11	2	0
納沙布	(27)	2-5	4-1	57日	39日	2	14	15	3	0
花咲	(27)	2-27	3-21	23日	10日	0	2	4	1	0
知人鼻	(30)	2-24	3-16	22日	8日	0	1	2	0	0

注)：(年)は初日，終日を平均した年数で，花咲は1974～2000年，納沙布は1971～1997年，その他は1971～2000年で流水の見られた年数。
 なお，月別日数の平年値は，月毎に平均したもので，その合計値は日数の平均値と一致しないことがある。

第10-3表：沿岸観測平年値（結氷による航行障害）

結氷	(年)	初日	終日	期間	日数	月別日数				
						12月	1月	2月	3月	4月
稚内	(30)	2-7	2-27	21日	13日	0	1	5	2	0
紋別	(30)	1-30	3-13	44日	37日	0	4	19	13	1
網走	(30)	2-1	3-19	49日	40日	0	3	18	14	2
羅臼	(30)	2-15	3-20	34日	11日	0	0	3	2	1
根室	(30)	1-12	3-21	70日	54日	0	12	22	16	2
納沙布	(27)	2-16	3-4	8日	4日	0	1	2	2	0
花咲	(27)	2-4	2-28	12日	8日	1	4	2	0	0
知人鼻	(30)	2-3	2-15	7日	2日	0	0	2	0	0

注)：(年)は初日、終日を平均した年数で、花咲は1974～2000年、納沙布は1971～1997年、その他は1971～2000年で、結氷があった年数。

第10-4表：沿岸観測平年値（流水による航行障害）

流水	(年)	初日	終日	期間	日数	月別日数				
						1月	2月	3月	4月	5月
稚内	(30)	2-11	3-4	22日	10日	1	3	2	0	0
紋別	(30)	1-30	3-25	56日	38日	5	18	14	2	0
網走	(30)	1-27	4-5	71日	50日	5	21	19	6	0
羅臼	(30)	2-12	4-6	54日	30日	1	10	12	6	0
根室	(30)	2-18	3-22	35日	24日	0	8	9	2	0
納沙布	(27)	2-12	3-25	36日	22日	1	10	10	2	0
花咲	(27)	3-7	3-18	5日	3日	0	1	2	0	0
知人鼻	(30)	3-1	3-17	4日	1日	0	0	1	0	0

注)：(年)は初日、終日を平均した年数で、花咲は1974～2000年、納沙布は1971～1997年、その他は1971～2000年で流水の見た年数。
 なお、月別日数の平年値は、月毎に平均したもので、その合計値は日数の平均値と一致しないことがある。

第11-1表：沿岸観測一覧表（結氷）

地名	初日 月日	平年比 日	終日 月日	平年比 日	期間 日	平年比 日	日数 日	平年比 日	月別日数及び平年比									
									12月	1月	2月	3月	4月					
									12月	1月	2月	3月	4月					
稚内	-	-	-	-	0	-55	0	-23	0	-7	0	-13	0	-3	0	±0		
紋別	1-4	±0	3-22	早 5	78	-7	62	-9	0	-1	16	-3	26	-1	20	-2		
網走	12-29	3 早	3-23	早 3	85	-1	56	-14	1	-1	8	-10	25	-2	22	+1	0	-2
羅臼	2-13	2 0 遅	3-14	早 7	30	-28	28	-2	0	±0	0	-3	15	+3	13	+4	0	-3
根室	12-28	8 遅	3-17	早 7	80	-17	73	±0	4	±0	24	+3	28	+2	17	-2	0	-3
花咲	12-26	1 7 早	4-5	遅 2 2	101	+39	51	+12	4	+3	15	+5	20	+3	11	+2	1	+1
知人鼻	12-30	1 8 早	3-5	遅 3	66	+20	37	+15	1	+1	12	+5	19	+6	5	+3	0	±0

*平年値：1971～2000年の30年平均（花咲は1986年からの暫定値）

第11-2表：沿岸観測一覧表（流水）

地名	初日 月日	平年比 日	終日 月日	平年比 日	期間 日	平年比 日	日数 日	平年比 日	月別日数及び平年比									
									1月	2月	3月	4月	5月					
									1月	2月	3月	4月	5月					
稚内	-	-	-	-	0	-25	0	-12	0	-1	0	-5	0	-3	0	0	0	±0
紋別	1-23	2 早	3-15	早 1 5	52	-14	39	-8	8	+2	19	-2	12	-4	0	-3	0	±0
網走	1-28	5 遅	3-19	早 2 0	51	-26	38	-22	1	-6	18	-5	19	-3	0	-8	0	±0
羅臼	2-8	2 早	4-5	早 3	57	-3	30	-9	0	-1	15	+2	11	-5	4	-5	0	-1
根室	2-17	1 遅	3-12	早 1 4	24	-16	14	-14	0	±0	3	-6	11	±0	0	-2	0	±0
花咲	-	-	-	-	0	-23	0	-10	0	±0	0	-2	0	-4	0	-1	0	±0
知人鼻	-	-	-	-	0	-22	0	-8	0	±0	0	-1	0	-2	0	±0	0	±0

*平年値：1971～2000年の30年平均（花咲は1986年からの暫定値）

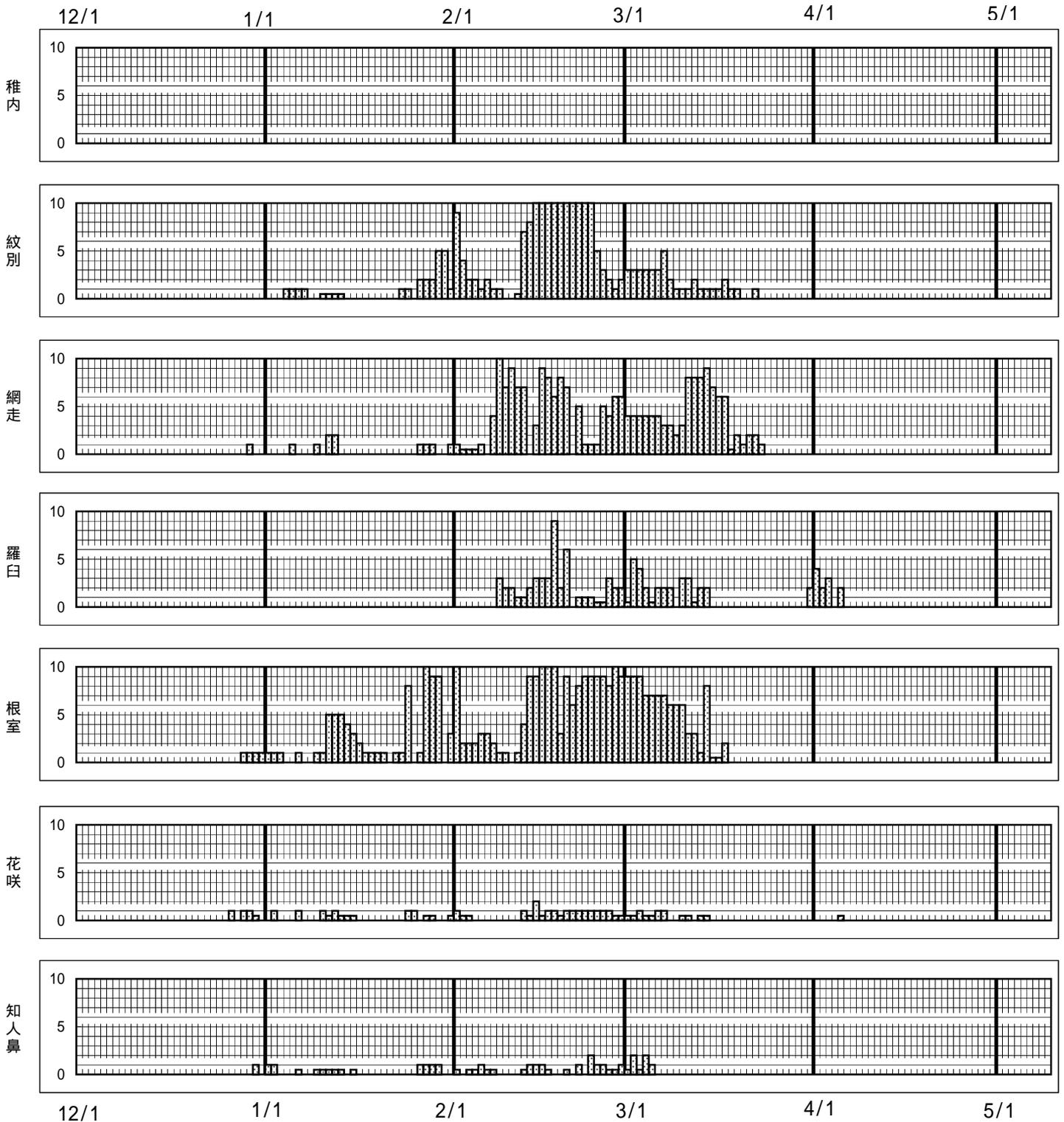
第12-1表：結氷による航行障害

地名	初日 月日	終日 月日	期間	日数	月別日数				
					12月	1月	2月	3月	4月
稚内	なし	なし	-	-	0	0	0	0	0
紋別	1月26日	3月12日	46	34	0	6	19	9	0
網走	2月8日	3月17日	38	28	0	0	12	16	0
羅臼	2月14日	3月14日	29	14	0	0	6	8	0
根室	1月11日	3月15日	64	35	0	5	15	15	0
花咲	なし	なし	-	-	0	0	0	0	0
知人鼻	なし	なし	-	-	0	0	0	0	0

第12-2表：流氷による航行障害

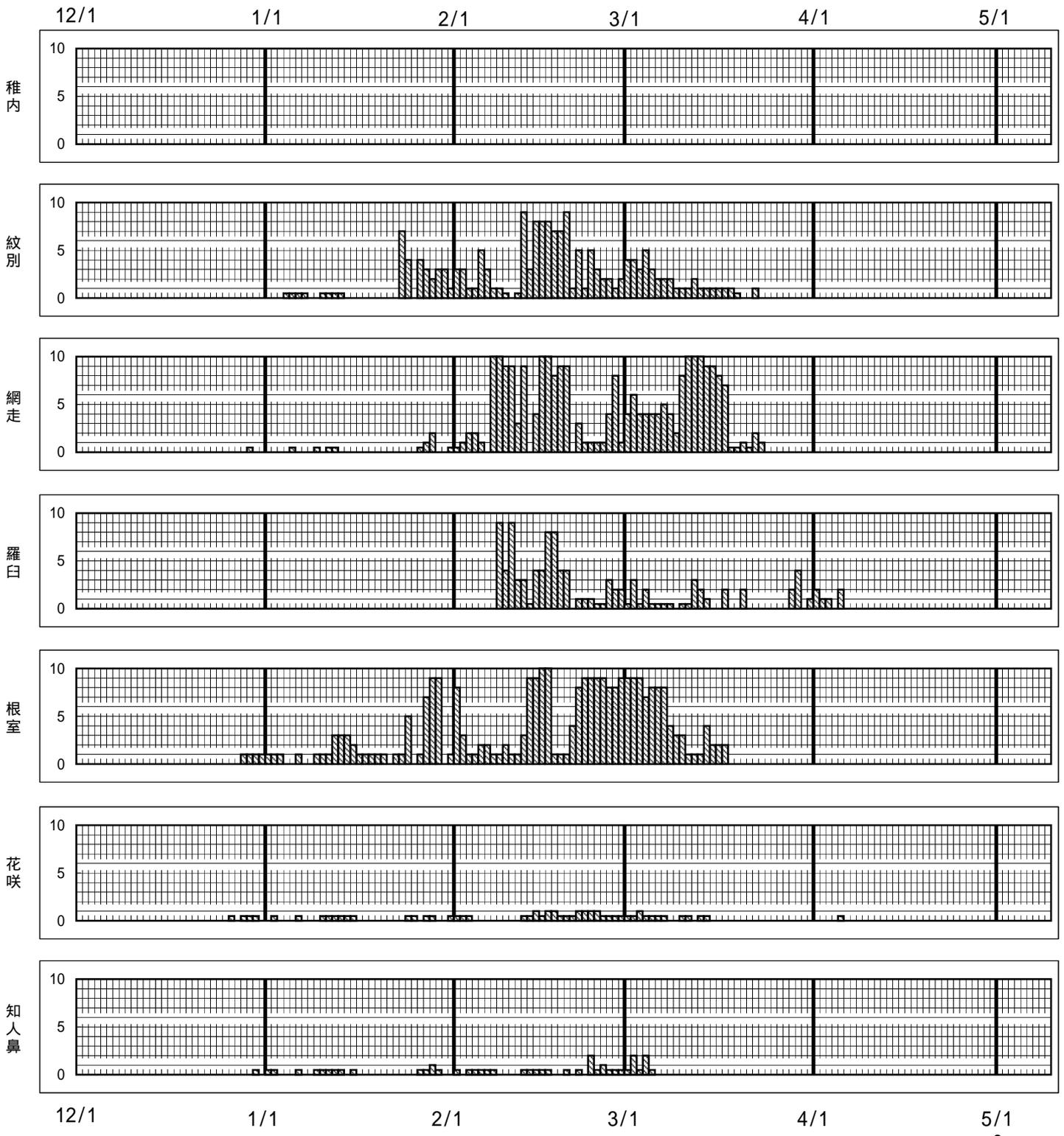
地名	初日 月日	終日 月日	期間	日数	月別日数				
					12月	1月	2月	3月	4月
稚内	なし	なし	-	-	-	-	-	0	0
紋別	1月23日	3月12日	49	28	0	5	14	9	0
網走	1月28日	3月17日	49	31	0	1	13	17	0
羅臼	2月8日	4月5日	57	25	0	0	11	11	3
根室	2月17日	3月12日	24	14	0	0	3	11	0
花咲	なし	なし	-	-	-	-	-	0	0
知人鼻	なし	なし	-	-	-	-	-	0	0

第4図：結氷水量図



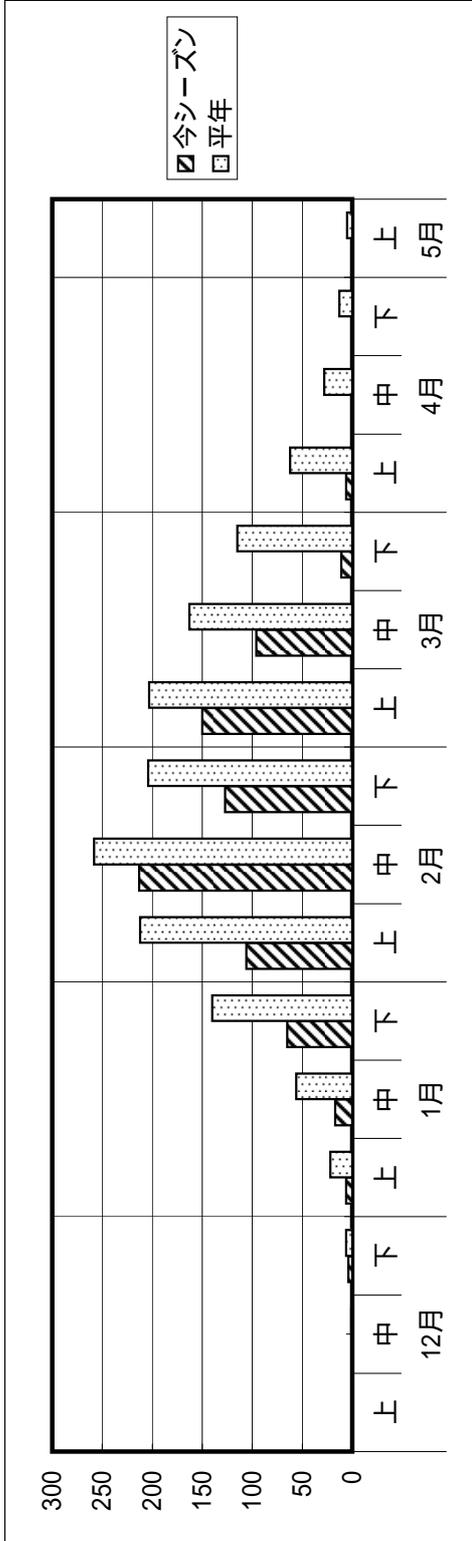
氷量0+は1に満たない氷量だが、海水は存在する場合
 氷量0+は便宜上0.5で表示している。

第6-1図：全氷量図



氷量0+は1に満たない氷量だが、海水は存在する場合
 氷量0+は便宜上0.5で表示している。

第6-2図：旬別水量図



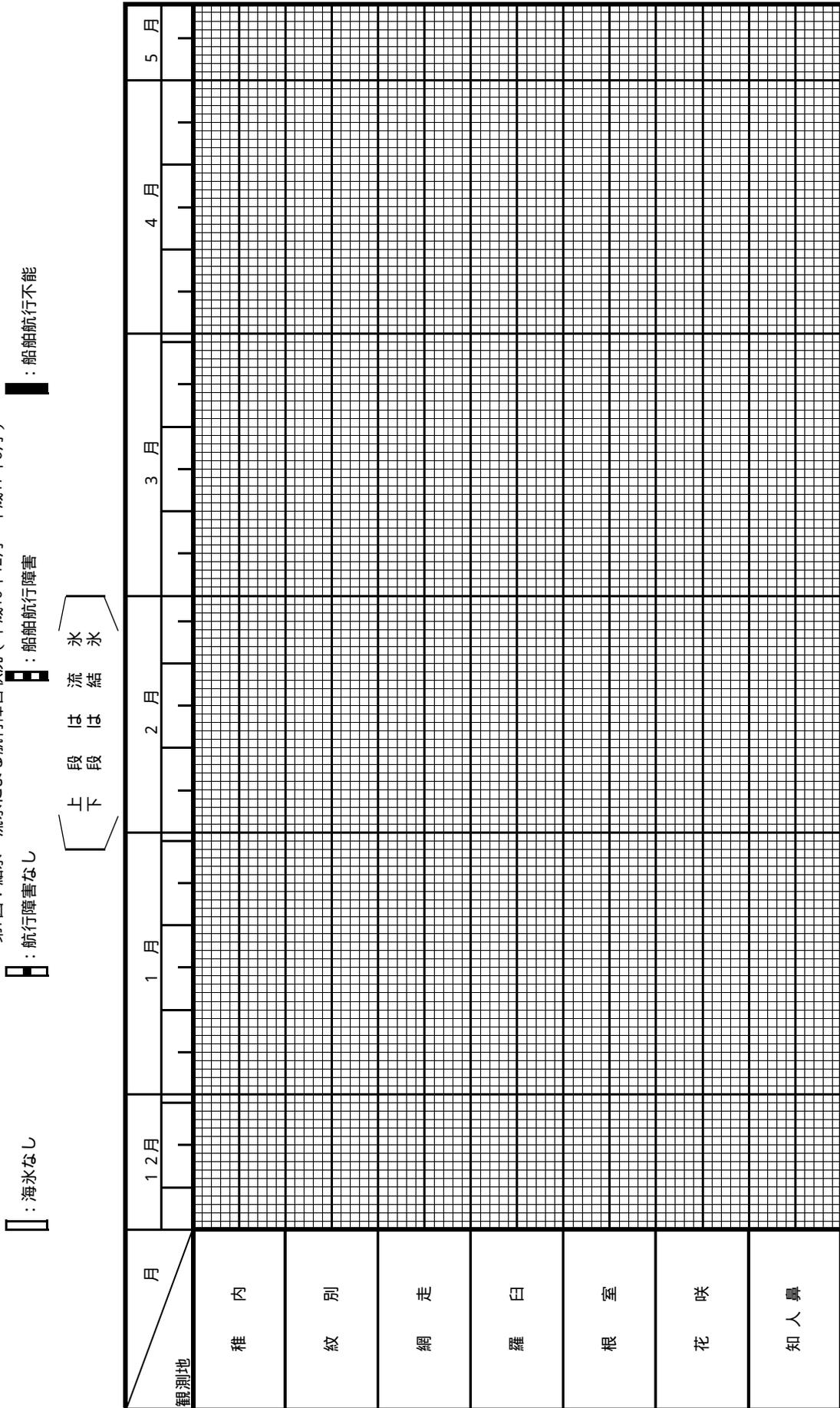
水量：氷の部分の比率、境界内に海面が見えない状態を10とする。
全水量とは各観測施設で観測した水量の合計

	12月			1月			2月			3月			4月			5月			全水量	
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下		
稚内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
紋別	0	0	0	0+	0+	27	18	60	21	27	9	1	0	0	0	0	0	0	0	163
網走	0	0	0+	0+	0+	3	44	63	20	45	64	3	0	0	0	0	0	0	0	242
羅臼	0	0	0	0	0	0	22	38	10	5	10	7	6	0	0	0	0	0	0	98
根室	0	0	4	6	17	34	22	49	69	68	13	0	0	0	0	0	0	0	0	282
花咲	0	0	0+	0+	0+	0+	0+	3	4	1	0+	0	0+	0	0	0	0	0	0	8
知人鼻	0	0	0+	0+	0+	1	0+	0+	3	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8
今シーズン	0	0	4	6	17	65	106	213	127	150	96	11	6	0	0	0	0	0	0	801
平年	0	1	6	22	56	140	212	258	204	203	163	115	62	28	13	5	5	5	5	1488

平年値は、花咲(1996-2000年)で、その他は(1971-2000年)の算出値である。

第13表：旬別水量と全水量

第7図：結氷・流水による航行障害状況（平成16年12月～平成17年5月）



□ : 海水なし

▣ : 航行障害なし

▤ : 船舶航行障害

■ : 船舶航行不能

上段は結氷
下段は流水